

小笠原諸島世界自然遺産 登録10周年記念事業

資料4

○主催事業

※赤字は令和2年度2月時点での管理機関からの投げかけ。青字は参画団体からの回答。橙字は管理機関からの追加コメント。

| 番号 | 事業名(タイトル) | 全体趣旨 | 事業項目 | 事業項目の内容 | 主催 | 場所 | 実施日・期間 | 対象者 |
|----|----------------|---|----------|--|----------------------------|-------------------------------|----------------|-------------------|
| 1 | 遺産登録10周年記念式典 | 遺産登録10周年を記念した式典を行い、1年間のPRイベント等のキックオフとする。 | 記念式典 | ・管理機関の挨拶(ビデオメッセージ、代読 他) | 管理機関(環境省、林野庁、文化庁、東京都、小笠原村) | 都庁都民ホール(東京都新宿区)、父島会場からオンライン配信 | 開催済 (6月26日) | 一般 |
| | | | 記念講演 | ・小笠原に関連のある有識者・ゲストより小笠原の魅力を発信 | | | | |
| | | | トークセッション | ・小笠原が持つ魅力を未来へ引き継いでいくために私たちができることを改めて視聴者に考えてもらうきっかけ作りを目的として、講演者・小笠原村関係者を交えたクロストーク | | | | |
| | | | 記念映像の放映 | ・小笠原世界自然遺産の紹介映像(10~15分)を放映する ・映像は既存データを用い、編集・音入れにより新たに製作 | | | | |
| | | | 中継 | ・小笠原参加者は父島会場より参加。 ・映像は都民ホールに拠点を設け、オンライン配信。 | | | | |
| 2 | 遺産登録10周年記念パネル展 | 遺産登録10周年の取組の歴史、経過などをまとめたパネルを作成し、広く取組を広報する | パネル展示 | <p>・遺産登録から10年の歩みをパネル展示して紹介する他、島内団体の取組や他の遺産地域の紹介などをして、島内団体や他地域との連携などをPRする</p> <p>→全団体)地域連絡会議にもパネル作成をお願いしたい(地域連絡会議全体で1枚程度?内容をみなさんに検討いただき、デザイン案は環境省で作成)。</p> <p>→父親)観光面での取組の紹介?</p> <p>→OWA)OWAで対応できる箇所があれば協力可能。</p> <p>→父漁)海岸清掃活動や、漁業者が操業の傍ら、沖合に漂流している大型の海洋ゴミを率先して回収している事を紹介できる。</p> <p>→野生研)対応可能。例えば西島の植生回復。駆除前と現在など。</p> <p>⇒ご協力感謝。パネルは8月頃をメドに作成予定としており、内容については追ってアンケート等でご意見集約させていただきたい。</p> | 管理機関(環境省、林野庁、東京都、小笠原村) | 竹芝客船ターミナル他 | 検討中 | 管理機関 研究者 一般 |

| 番号 | 事業名(タイトル) | 全体趣旨 | 事業項目 | 事業項目の内容 | 主催 | 場所 | 実施日・期間 | 対象者 |
|----|-----------------------------------|---|-------|--|----------------|--------------|------------------------------|-------------------|
| 3 | Ogasawara フェスタ 小笠原諸島世界自然遺産の10年 | 小笠原を訪れたことのある人、これから行きたい人、自然派志向の人など一般の人向けに、小笠原の魅力幅広く発信することによって、小笠原諸島世界自然遺産をPRする | ブース出展 | <p>(全体コンセプト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新宿御苑を訪れる『ちょっと自然派志向』の来訪者に対して、なかなか行きにくい小笠原の魅力伝える ・リニューアルしたインフォメーションセンターも活用した新宿御苑での企画 | 環境省 | 新宿御苑(東京都新宿区) | 秋頃(10月頃) ※内容によっては期間の幅を検討。 | 一般(自然派志向の新宿御苑来園者) |
| | | | 写真展 | <ul style="list-style-type: none"> ・取組紹介のブースの他、観光情報の紹介、地場産品の紹介(行政だけでなく、観光協会や農協など、地域団体の協力も得る) →全団体)参画団体からもブース出展をお願いしたい(地域連絡会議で1ブースでも、団体単独1ブースでも)。 →OWA)内容や条件によっては協力可能。職員が内地へ赴くのは定期的に困難と思われる。 →父漁)イベントなどへの参加は厳しい。 →父農)その時期に出荷される農産物や農産加工品をもってブース出展することは可能(実績もあり) →野生研)対応可能だが、印象深い展示物が思い当たらない。希少種の花などの植木鉢を内地に持ち込めるか、1か月も世話できない等困難がある。 →IBO)事前にフォーマット付きでパネルスペースを頂くか、デザインも含めて活動紹介の自作可能ならば参加可能。 ⇒ご意見とまた昨今のコロナの状況を鑑みて、内地へ実際にお越しいただき、ブース出展等を行っていただくことは今回見送りたいと考えています。一方で、展示物や農産加工品等のブース出展のご協力いただける形は考えておりますので、ぜひご協力いただければ幸いです。 ・アートギャラリーでパネル展示の他、一般島民が撮った『私の小笠原』的な写真展などを開催 | | | | |
| 4 | 小笠原学術研究会 | 科学委員会を中心とした研究者による学術研究会を開催し、10年間の自然生態系の現状評価・レビュー、10年後に向けた提言をとりまとめる | 研究会 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究者による小笠原の自然環境と10年間の変化と取組の評価 ・管理機関による10年間の取組の紹介 ・カテゴリー毎に自然環境・自然生態系の評価・レビューをとりまとめる | 環境省 共催:大学機関 | 大学機関又はオンライン | 冬頃 | 研究者 管理機関 |

| 番号 | 事業名(タイトル) | 全体趣旨 | 事業項目 | 事業項目の内容 | 主催 | 場所 | 実施日・期間 | 対象者 |
|----|------------------------|--|-----------|---|------------------------|---------------|-----------------|---------------|
| 5 | 遺産登録10周年島内企画 (名称未定) | 一般島民向けに世界遺産10年の取組、次の10年に向けた目標を共有する | 記念講演会 | <ul style="list-style-type: none"> ・科学委員による小笠原の自然環境と10年間の変化と取組の評価 →OWA、小環研、野生研、IBO)各団体から取組報告をお願いしたい。 →OWA)対応可能 →野生研)対応可能 →IBO)取組み報告なのか？ 10周年へのスピーチなのか？等、内容具体化して頂ければ検討可能。また、活動が認識されている島内団体以上に、東京都獣医師会等、小笠原の遺産を支える取り組み団体の、島民むけの講演の実現を希望する。 ⇒協力のお申し出及び貴重なご意見をありがとうございます。感染症対策のため、今年度の遺産センターでの開催は見送ることとし、開催方式の変更や来年度以降の企画実施を検討いたします。 | 管理機関(環境省、林野庁、東京都、小笠原村) | 遺産センター | 未定 | 一般島民 島内関係者 |
| | | | 報告会 | <ul style="list-style-type: none"> ・管理機関と地域団体による取組を報告する ⇒上と同じく実地開催が難しいことから今年度の遺産センターでの開催は見送ることとし、開催方式の変更や来年度以降の企画実施を検討いたします。 | | | | |
| | | | パネル展示 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの10年の取組をまとめたパネルを遺産センターで展示する | | | 2021年度中 | |
| | | | 島民座談会 | <ul style="list-style-type: none"> ・次の10年の目標を、島民目線で考える ・管理機関は次の10年に向けた島民意識を体感する | | | | |
| 6 | 世界自然遺産学習(父島) | 小笠原小学校が実施している総合学習(3年~6年)で世界遺産を意識した授業の支援と記念の植樹を実施する | 6年生(世界遺産) | <ul style="list-style-type: none"> ・3学期に実施する世界遺産学習の際に、他の遺産地域とつなぎ、小笠原の世界遺産の魅力を生徒が紹介し、地域の魅力を再認識する | 環境省、小笠原小学校 | 小笠原小学校、遺産センター | 10周年事業以外での実施を検討 | 小学生 |
| | | | 4年生(植物) | <ul style="list-style-type: none"> ・1学期に実施する小笠原の植物の授業の際に、父母交流会で発表する壁新聞をOgasawaraフェスで発表、紹介する | | | | |
| | | | 3年生(生き物) | <ul style="list-style-type: none"> ・1学期、3学期に実施する海鳥やオオコウモリの授業でまとめる絵本を遺産センター10周年記念講演会で発表紹介する →IBO)ご協力できることがあれば検討するが、あくまでも子供のための授業であり、それぞれ経緯、主体があるため、アイデア先行にならないように発案前から関係者へのご相談をお願いしたい。 ⇒ご意見をありがとうございました。授業カリキュラムとの調整の都合上今年度中の実施が困難なため、ご指摘を参考に来年度以降の開催を検討いたします。 | | | | |
| | | | 記念植樹 | <ul style="list-style-type: none"> ・小笠原に生育する希少植物などを学校敷地内に植樹する →野生研、小環研、母親(茂木さん)植樹指導等の協力をお願いしたい。 →野生研)協力可能。 →小環研)個別打合せ希望。 ⇒ご協力の申し出をありがとうございました。上記と同じく次年度以降の開催を検討させていただきます。 | | | | |

| 番号 | 事業名(タイトル) | 全体趣旨 | 事業項目 | 事業項目の内容 | 主催 | 場所 | 実施日・期間 | 対象者 |
|----|-----------------------------|--|----------------------------|--|------------|--------------------|-----------------|-----------|
| 7 | 世界自然遺産学習(母島) | 母島小中学校が実施している総合学習等で世界遺産を意識した授業の支援 | | 乳房山登山のマイマイ学習など様々な授業の際に、世界遺産を照会する壁新聞をまとめ、Ogasawaraフェスで発表、紹介する。 ⇒今年度の総合学習は終了しており、カリキュラム調整に時間を要するため、来年度以降の実施を検討いたします。 | 環境省、母島小中学校 | 母島小中学校、遺産センター | 10周年事業以外での実施を検討 | 小学生 |
| | | | 記念植樹 | ・小笠原に生育する希少植物などを学校敷地内に植樹する →野生研、小環研、母観(茂木さん)植樹指導等の協力をお願いしたい。 →野生研)協力可能。 →小環研)個別打合せ希望。 ⇒ご協力の申し出をありがとうございました。上記と同じく次年度以降の開催を検討させていただきます。 | | | | |
| 8 | 遺産登録10周年記念企画展 | 遺産登録10年間の歩みや取組状況等に係る展示解説により、村民や観光客に遺産の価値を再認識してもらう。 | パネル展示等による企画展の実施 | ・(詳細は調整中) | 東京都指定管理者 | 小笠原ビクターセンター | コロナにより開催時期未定 | 村民 観光客 |
| 9 | 都立大神山公園フォトコンテスト | 遺産登録10年周年を記念し、小笠原諸島及び大神山公園に係るフォトコンテストを実施する。 | フォトコンテスト | オンラインでフォトコンテストを実施 | 東京都指定管理者 | オンライン | 秋頃 | 一般 |
| 10 | 都立動物園との連携企画 | 動物園の来園者に、小笠原の動物の希少性や生物多様性の価値等を伝える。 | 小笠原産の飼育動物を活用した展示解説、イベント等 | ・都立動物園が飼育するアカガシラカラスバトや陸産貝類等を活用した展示解説、イベント等 (詳細は調整中) | 東京都指定管理者 | 都立動物園 | コロナにより開催時期未定 | 一般 |
| 11 | 都立植物園との連携企画 | 植物園の来園者に、小笠原の植物の希少性や生物多様性の価値等を伝える。 | 小笠原産の植物を活用した展示解説、イベント等 | ・都立植物園が育成する小笠原の固有植物等を活用した展示解説、イベント等 (詳細は調整中) | 東京都指定管理者 | 神代植物公園 夢の島熱帯植物館 | コロナにより開催時期未定 | 一般 |
| 12 | 遺産登録10周年記念講演(チャールズ・ダーウィン財団) | 世界自然遺産第1号であるガラパゴスの取組を学ぶとともに、双方の連携を強化する。 | ガラパゴスの自然環境保全に係る取組の講演、意見交換等 | ・現地の保全関係者等による講演 | 東京都 | 開催方法未定 | コロナにより現地からの渡航断念 | 一般 |

| 番号 | 事業名(タイトル) | 全体趣旨 | 事業項目 | 事業項目の内容 | 主催 | 場所 | 実施日・期間 | 対象者 |
|----|-------------|--|------|---|--|-------------------------|---------------------|-----------------------------|
| 13 | 無人島視察会 | 無人島の状況を、村民に現地で直接見てもらい、伝える。 | | ・地元講師、有識者による生物解説 →父親・母親)専門家のほかに、ガイドのみなさんにも一部解説をお願いしたい。 →父漁)無人島観察会等は協力できる。 →野生研)協力可能。 | 小笠原村 | 聳島・弟島 | 2021～22年 | 村民 |
| | | | | ・管理機関による取組説明 | | | | |
| | | | | ・作業体験? | | | | |
| 14 | 世界遺産村民意向調査 | 村民が遺産に関して肌で感じていることを広く把握する。 | | 自然環境の利用頻度、遺産と生活 | 小笠原村 | | 6～7月 | 全世帯と 小学5年 生～高校 3年生 |
| | | | | 遺産の取組の認知度、取組の官民連携 | | | | |
| | | | | オガニマルズ(小笠原の動植物)人気投票 | | | | |
| 15 | ははじま丸クルーズ | 無人島の状況を、はは丸から直接見てもらい広く伝える。 | | ・有識者による自然環境、生物の解説 →父親・母親)専門家のほかに、ガイドのみなさんにも一部解説をお願いしたい。 | 小笠原村 | 父島列島 母島列島 | 9/26:父列 10/17:母列 | 一般 |
| | | | | ・管理機関による取組説明 | | | | |
| | | | | ・船内放送、パネル展示 | | | | |
| 16 | 小笠原DAYとコラボ | 小笠原に興味がある人を中心に島外向けに遺産を観光の観点からPRする。 | | ・小笠原遺産ブースの出展 | 小笠原村観光局 小笠原村 | 未定 | 未定 | 一般 |
| | | | | ・他の自然遺産地域の紹介 | | | | |
| | | | | | | | | |
| 17 | おが丸クルーズとコラボ | 無人島の状況を、おが丸から直接見てもらい広く伝える。 | | ・有識者による自然環境、生物の解説 | 小笠原海運 船内企画:村 予定 | 西之島 | 11月 | 一般 |
| | | | | ・管理機関による取組説明 | | | | |
| | | | | ・船内放送、パネル展示 | | | | |
| 18 | オンライン環境学習講座 | 都民が環境問題への理解を深め、環境に配慮した自発的な行動を取れるように普及啓発。 | | ・講師は、東京都レンジャー(父島1名、母島1名) | 東京都 公益財団法人 東京都環境公 社 | オンライン | 実施済 (6月27日) | 一般都民 500名 |
| | | | | ・小笠原の自然、生活、活動の紹介 | | | | |
| | | | | ・リアルタイムで父島母島を紹介 | | | | |
| 19 | 博物館特別企画展 | 硫黄列島の調査の様子などを紹介し、あまり知られていない火山列島の自然の魅力を伝える。 | | 神奈川県立生命の星・地球博物館にて特別企画展 「絶海の自然-硫黄列島をゆく-」 | 主催:神奈川 県立生命の 星・地球博物 館.IBO 後援:東京都 | 神奈川県立 生命の星・地 球博物館 | 7月17日～ 10月31日 | 一般 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | 地域からのアイデア | | | ・父親)自然環境だけでなく、観光面でも遺産登録後の10年間で振り返る機会を設けられれば ・野生研)この10年間で顕著な成果を上げた団体を表彰してはどうか? ・野生研)オガサワラオコウモリの森づくりをしては? ・IBO)小笠原の世界自然遺産管理は、どこにいて、どこに向かうのか、そのような機会を、10周年の機会に持ってほしい。 ・小環研)希少種保全の取り組みの情報発信(研究者や動物園等とのコラボで数件)、弊社の雑貨商品の出品、歴史関係などアイデアあり | | | | |

○作成物

| 番号 | 事業名 | | 内容 | 品名 | 製作者 | 数量 | 作成時期 | |
|----|--------|--|--------------------|----------------------------|------|---------|-------------|--|
| 1 | パンフレット | | 改訂(時点修正、10年の取組を追加) | 小笠原の自然のために私たちが取り組むこと | 環境省 | 5,000 | 2020年度内 | |
| | | | 新規(上記の英語版) | 小笠原の自然のために私たちが取り組むこと | 環境省 | 1,000 | 2020年度内 | |
| | | | 改訂(時点修正) | 小笠原の自然のために私たちができること | 環境省 | 10,000 | 2020年度内 | |
| | | | 改訂(時点修正) | 外来動物対策は今!(日本語版) | 環境省 | 5,000 | 2020年度内 | |
| | | | 改訂(時点修正) | 小笠原に持ち込まれた生きものたち(グリーンアノール) | 環境省 | 5,000 | 2020年度内 | |
| | | | 新規 | 進化と変化を続ける島々の自然と暮らしを紡ぐヒトビト | 小笠原村 | 10000 | 6月 | |
| 2 | ノベルティ | | 新規 | エコバッグ | 環境省 | 1,000 | 2020年度内 | |
| | | | 改訂(紹介する生きものの入れ替え) | 下敷き | 環境省 | 1,000 | 2020年度内 | |
| | | | 新規 | クリアファイル | | 1,000 | | |
| | | | 新規 | マスキングテープ | 環境省 | 2000×2種 | 2020年度内 | |
| | | | 新規 | ボールペン | 環境省 | 1,000 | 2020年度内 | |
| | | | 新規 | 写真&写真立て | 小笠原村 | 2000 | 2021年末に完成予定 | |
| | | | 新規 | うちわ | 小笠原村 | 3000 | イベント次第 | |
| 3 | その他 | | 新規 | 横断幕 | 環境省 | 1×2種 | 2020年度内 | |
| | | | 新規 | のぼり | 環境省 | 10枚 | 2020年度内 | |

小笠原諸島世界自然遺産地域登録 10 周年記念式典 開催結果

1. 開催概要

【目的】

小笠原諸島は維管束植物や陸産貝類の高い固有種率や適応放散に代表される現在進行中の種分化が見られること等が高く評価され、2011 年 6 月に我が国 4 番目の世界自然遺産に登録された。そして、2021 年は世界自然遺産登録から 10 年となる節目の年であり、これまでの取組を振り返り、次の 10 年へとつなげていくとともに、この機会に島外の多くの人々に小笠原諸島の魅力を広く発信するため、この度、遺産登録 10 周年事業として「小笠原諸島世界自然遺産地域登録 10 周年記念式典」をオンラインにて開催し、国内における世界自然遺産に対する保全の意識を高め、後世に引き継いでいくことを目的とした。

【開催日時】 令和 3 年 6 月 26 日（土）15 時 00 分～17 時 00 分

【会場】 都民ホール（都内）及び小笠原世界遺産センター（父島）より動画配信。

一般視聴者は、Youtube より動画視聴

【主催】 小笠原諸島世界自然遺産地域管理機関

【プログラム】

※司会進行：芦川 愛子（フリーアナウンサー）

15:00 主催挨拶

環境副大臣 笹川 博義

東京都知事 小池 百合子

関東森林管理局長 上大田 光成

15:10 来賓祝辞

15:15 表彰・受賞者紹介

「令和 3 年度野生生物保護功労者」 小笠原海運

「令和 3 年度 みどりの日 自然環境功労者」 小笠原海洋島研究会

15:20 記念講演①「小笠原のマイマイに進化を見る」 千葉 聡（東北大学 教授）

15:20 記念講演②「小笠原諸島 誕生の秘密」 海野 進（金沢大学 教授）

16:00 ゲスト講演「さかなクンが語る！小笠原の海のいきものの魅力とは？」

さかなクン（地球いきもの応援団）

16:20 トークセッション「未来へつなげていくためにできること」

全体コーディネーター：可知 直毅（東京都立大学 特任教授）

登壇者：千葉 聡（東北大学 教授）／海野 進（金沢大学 教授）／さかなクン（地球いきもの応援団）／渋谷 正昭（小笠原村 副村長）／芦川 愛子（フリーアナウンサー）

16:55 おわりに（小笠原村長 森下 一男）

17:00 エンディング（遺産紹介映像の放映）

2. 結果概要

【申込状況】

- ◆ 申込件数…577 件
- ◆ 視聴者数…768 人 ※申告による人数
- ◆ 申込者属性 (n=564)
 - ・ **年齢** 50代が最も多く約3割を占めた。30代以下も3割を超え、比較的幅広い年齢層から申し込みがあった。
 - ・ **居住地域** 小笠原村居住者は約2割で、都内(23区、多摩地域)が最も多く、約4割を占めた。その他地域では、海外からの申し込みもあった。
 - ・ **渡航経験** 居住経験者が約2.5割、渡航経験者が約4割、渡航経験なしが約3.5割と、様々な属性から申し込みがあった。

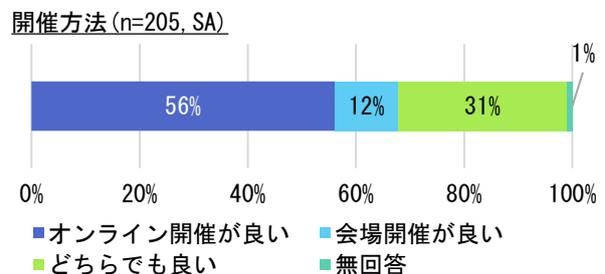
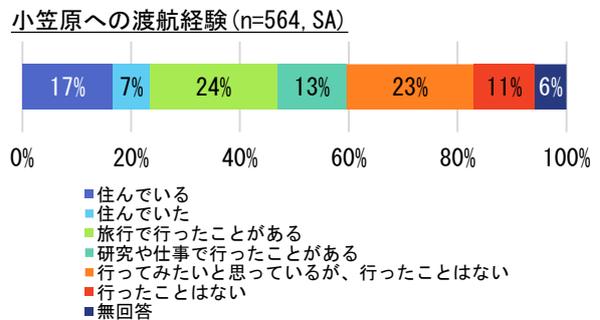
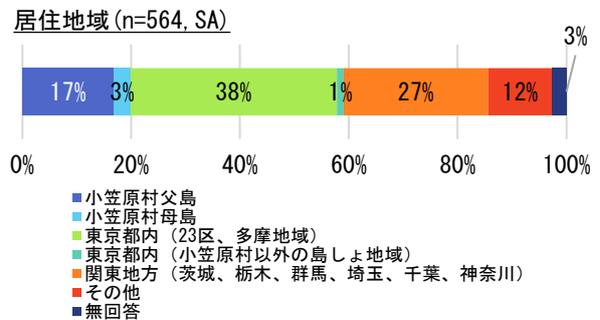
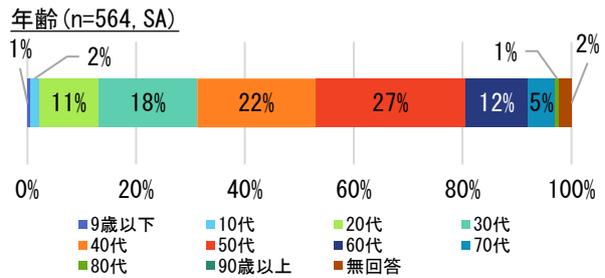
【視聴状況】

- ◆ 視聴回数：986
- ◆ ユニーク視聴者数：528 ※推定ユーザー数
- ◆ 最大同時接続数：336
- ◆ 視聴者の感想 (n=205)
 - ・ 内容、時間ともに高い満足度が得られた。
 - ・ 今後のイベント開催方法については、「オンライン開催が良い」が半数を超え、オンライン開催に利点を感じている視聴者が多いとみられる。

【配信の様子】



配信会場（都民ホール）の様子



トークセッションの様子

世界自然遺産登録10周年記念 オンライン環境学習講座について

令和3年7月
東京都小笠原支庁



■ 講座概要

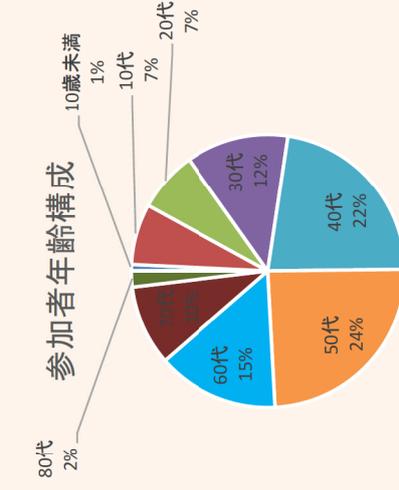
- 世界自然遺産登録10周年を記念して、小笠原の自然保護に取り組む東京都レンジャーが、小笠原の自然の魅力をおオンラインで発信
- 主催：東京都環境局
- 実施：公益財団法人東京都環境公社
- 協力：東京都小笠原支庁

● 講座内容

小笠原の地理、生活を知る
フィールドガイド（オンライン中継含む）
小笠原の自然を知る
都レンジャー業務紹介
希少種保全活動紹介
質疑応答

- Zoomウェビナー参加者数：338人
YouTube Live最大視聴者数：48人
- 合計 386人**

■ 視聴者構成（Zoom）等



- 小中高校生～80歳代の幅広い世代
東京都の参加者が77%（北海道～福岡）
- 講座後、事前登録者へアンケートやQ&Aの回答(60問)、録画配信の案内を送付
- 講座中には、質問や感想がリアルタイムで多く寄せられるなど、多くの方々に興味を持って視聴していただき、世界自然遺産小笠原をアピールする良い機会となった。